

経営比較分析表（令和4年度決算）

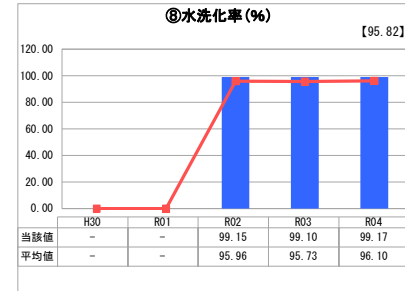
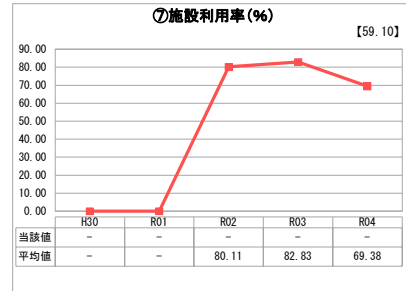
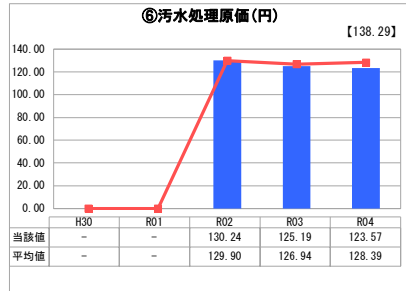
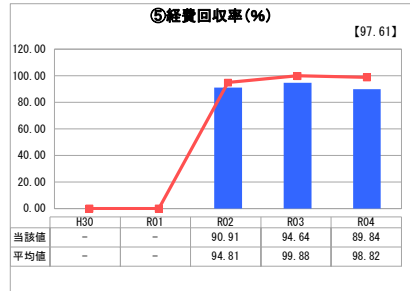
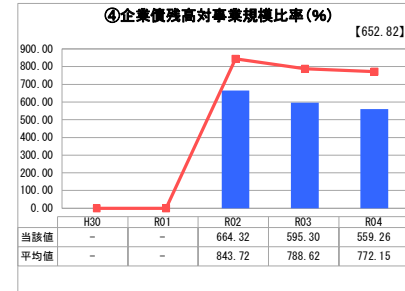
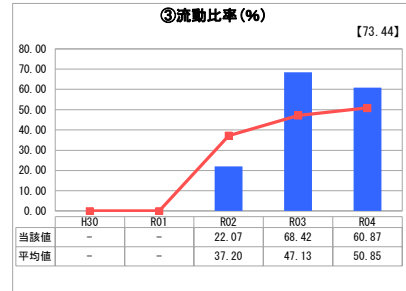
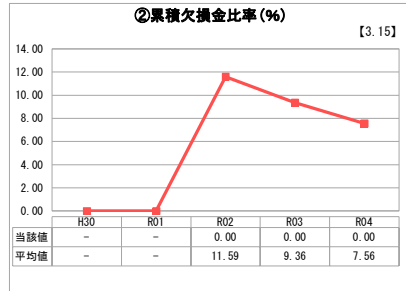
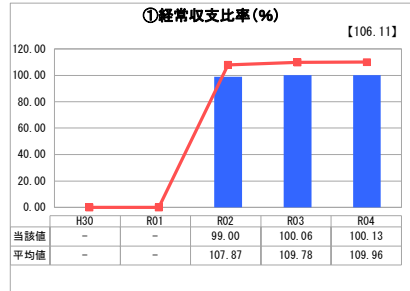
京都府 向日市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bb1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	48.50	100.00	83.69	2,266

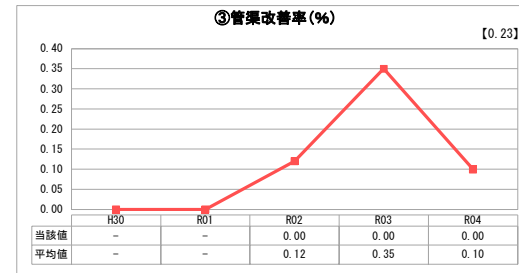
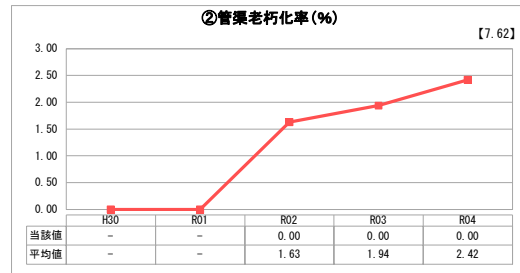
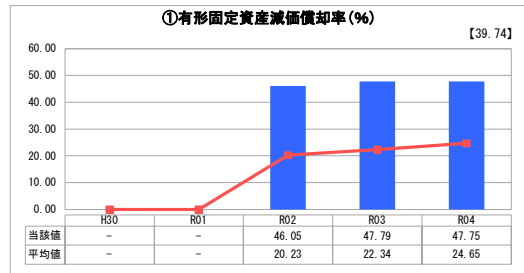
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
56,794	7.72	7,356.74
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
56,662	6.52	8,690.49

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
[]	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 収益的収支比率
経常収支比率は100%に近い値で推移していますが、使用料収入の不足分を一般会計繰入金によって賄っています。

③ 流動比率
未払金に充当するための財源を年度内に収入していることから、年度末時点の現金が増え、流動比率が高くなっています。

④ 企業債残高対事業規模比率
耐用年数を超えた管渠がなく、本格的な老朽管の更新が始まっていないことから、企業債の新規借入を行うことが少ないため、減少しています。

⑤ 経費回収率
汚水処理費の一部を一般会計繰入金によって賄っているため、100%を下回っています。適正な経費回収のため、経営管理の向上が必要です。

⑥ 汚水処理原価
汚水処理費が高くなる分流水下水道を採用しています。類似団体とほぼ同水準となっています。

⑧ 水洗化率
早くから水洗化を進め、汚水事業整備が平成12年に完了したことから、ほぼ100%となっています。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率
概ね資産全体の半分程度償却が進んでいる状況です。

② 管渠老朽化率
昭和49年から整備に着手したため、耐用年数50年に達している老朽管はありません。現在、予防保全型の維持管理を行い、下水道管渠の長寿命化に取り組んでいます。

全体総括

支出の大部分を占める企業債償還金は減少傾向にあります。使用料収入では支出全体を賄いきれず、一般会計からの繰入金に依存する状況が続いています。今後も正確な経営状況の把握に努め、安定的な下水道事業運営を行うための適切な経営管理を行います。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。